

報道関係各位
Press Release

COGNITEE
2020年10月15日
コグニティ株式会社

『AI×コンサルティング』による商談レベルアッププログラムを共同開発 JMACとコグニティ、AIと営業コンサルタント評価の両面から ニューノーマル時代の営業活動を支援し、企業の業績アップに貢献

プレゼンテーションや営業トークなど、ビジネスコミュニケーションのAI解析技術を持つコグニティ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役:河野 理愛 以下「当社」)は、株式会社日本能率協会コンサルティング(本社:東京都港区、代表取締役社長:鈴木 亨 以下「JMAC」)と、コロナ禍で急増したオンラインによる営業活動を支援する商談レベルアッププログラムを共同開発したことをお知らせします。本プログラムを受講された企業は、オンライン商談など、今後も定着すると見られる遠隔による営業活動をスムーズに進めることが可能となり、業績向上が期待できます。

なお本プログラムのリリースを機に、JMACとの共同オンラインセミナーを開催。テレワークやオンライン商談に課題を持つ多くの方にご参加いただきました。

オンライン営業における営業担当者の悩み

1. 表情が読めないで、次の話題がつづくにくい
 - カメラをONにしても相手の表情が読めない
 - ちょっとした顔と目線の変化がつかみづらいので一方的に話してしまう
 - 反応がわからないので次の話題が作りづらい
2. 相手の本音・興味関心がなかなか引き出せない
 - 雑談や愚痴などになりやすく、深口か出ていた本音がわからなくなった
 - 相手からの質問も減るので、興味関心が引き出せない
3. 資料の見せ方・話し方を変えたいといけないうえ変えられない
 - 従来の資料をそのままPDFと文字が小さく見にくい
 - 一方的に話す相手が増えている
 - 短時間・他業種の商談になるが、次の商談機会をつくり切れない

商談レベルアッププログラムとは

評価の属人化を最大限排除し客観的な分析・共通指導で一人ひとりの商談スキルアップを図るプログラムです

どのような業務者であっても、同じ案件ケースには同じ育成・フォローの実現を目指しています

スキル向上の課題

- ① 相手の本音の読み取り
- ② 相手の興味関心の読み取り
- ③ 相手の話し方の改善
- ④ オンライン営業のスキルアップ
- ⑤ 成果の最大化

AI活用による課題解決

- 自動化されたマテリアル作成
- AIによるデータ活用による自動検出の拡大・個別検出精度の向上
- 管理職として新たなデータ活用・マネジメントスキルの習得
- 商談スキル診断による業務改善
- AIによる営業活動の最適化

テレ検

オンライン商談の実態をつかむ
勝ちパターンがわかる
テレワーク商談AI検定

【Withコロナ時代に求められる商談スキルを強化】

商談レベルアッププログラムは、JMACの営業コンサルティングに当社のAI診断を組み合わせることで実現した、評価の属人化を最大限排除し客観的な分析や指導を通して一人ひとりの商談スキルのレベルアップを図るプログラムです。

新型コロナウイルス感染拡大の経済的影響は未だ収まらず、企業には新型コロナウイルスと共存した事業推進が求められ、営業にもテレワークやオンライン商談が多く用いられています。しかし対面商談を主軸としていた営業活動から突如オンラインに切り替わったことで、「相手の表情が読みづらく反応がわからない」「どうしても一方的な商談になってしまう」「指導にバラつきが生じてしまう」などの声が多くあがったことから、商談トークをAIと

営業コンサルタント評価の両面から解析し、オンライン商談に適したトークに改善するプログラムを開発する運びとなりました。

【商談レベルアッププログラムに使用する『テレ検』とは】

JMACと共同開発した商談レベルアッププログラムには、当社のAIサービス『テレ検(テレケン)』が使用されます。テレ検は、オンライン商談に適したトーク要素の含有量などをチェックする「オンライン商談適性度」を含め、テレワークによる商談特有のトークスキル向上を助ける検定レポートサービスです。使用中のWeb会議システムを変更する必要がなく、商談音声録音・アップロードするだけでフィードバックレポートの受領が完了します。

本プログラムの開始時と終了時に診断として利用することで、現状の商談スキルや課題、成長度合いを「見える化」し、商談スキル強化を図ります。

テレワーク商談AI検定



テレ検 (<http://tele-ken.com/>)



例: 商談レベルアッププログラムの流れ

【今後の展望】

グローバル化、多様化する市場のニーズ、新しい生活様式への対応など、経営は大きな変革を求められています。JMACと当社は、互いが保有する技術・経験を生かし、協力体制のもと、今後も企業の経営革新を支援します。

【株式会社 日本能率協会コンサルティング(JMAC)】

- 設立:1980年4月1日
- 所在地:〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22日本能率協会ビル7階
- Web : <https://www.jmac.co.jp/>
- 資本金:2億5千万円
- 社員数:350名
- 代表者:代表取締役社長 鈴木 亨
- 事業内容:経営コンサルティング業。戦略、マーケティング&セールス、R&D、生産、サプライチェーン、組織・人事、BPR、ITビジネスなど、クロスファンクショナルなコンサルティングサービスをグローバルレベルにて提供。

【コグニティ株式会社 会社概要】

- 設立:2013年3月28日
- 所在地:〒140-0001 東京都品川区北品川5-5-15大崎ブライトコア407号室
- Web : <https://cognitee.com/>
- 資本金:530,277千円(資本準備金含)
- 従業員:190名(国内外在住の解析リモートワーカー150名を含む)
- 代表者:代表取締役 河野 理愛
1982年生まれ、徳島県出身。慶應義塾大学総合政策学部卒業。大学在学中の2001年にNPO法人を設立、代表として経営を行う。2005年にソニー株式会社入社、カメラ事業を中心に、経営戦略・商品企画に従事。2011年に株式会社ディー・エヌ・エー入社、ソーシャルゲームの海外展開を担当。2013年、完全在宅勤務制のコグニティ株式会社を設立。
- 事業内容:「思考バイアスを取り除く」ためのソフトウェアを開発。文脈解析を強みとするトーク評価サービス「UpSighter」を展開。
- ◇ リモートワーカーを含め、ISMS認証(ISO27001)を2019年6月に取得
- ◇ 「トークや文書の文脈・構成について差分計算し、抜け漏れ・過不足を予測/推薦する技術」について、2015年に出願、2019年8月に特許取得(特許第6573321号)(海外特許審査中)
- ◇ 2013年創業時より「完全在宅勤務制」を採用し、運用に成功している企業として多くのメディアに取り上げられる

本件に関するお問合せ先
コグニティ株式会社 広報担当:田中・服部
Email: mk@cognitee.com TEL: 03-4212-8445

株式会社日本能率協会コンサルティング ビジネスイノベーション本部 豊島涼子(広報担当)
メール: info_jmac@jmac.co.jp 電話:03-4531-4307